

2018・10・27 「施設再編整備計画の学習会」の内容（1）

★☆☆2018・10・27 富田たく（共産党区議）さんのお話し ★☆☆

施設再編プランの経緯について

- 1) 今から8年前の2010年（H22）4月、区は「施設白書2010」を発表しました。
その内容は、区が保有している区立施設（校舎、グラウンド、体育館、図書館、児童館など etc）の規模はどのくらいで、どのように使われ、どのくらいの経費がかかっているのかというデータ分析のようなものでした。
- 2) ところが3年後の2013年（H25）に、「施設再編計画の素案」を発表しました。その内容は施設白書のデータを踏まえての“区立施設は財政負担になっている” というもので、大規模な“施設の削減計画”が打ち出されていました。
このころは、私たちは素案にある児童館全廃という方針の問題点を皆さんにお知らせし、撤回運動に取り組みました。また、学校統廃合計画が大きな問題となりました。
- 3) 翌年の2014年（H26）に、5年計画としての「施設再編計画・一次プラン」が発表され、
3年後の2017年（H29）には残りの2年間についての「一次実施プラン」の改定がありました。
- 4) 2018年（H30）、今年の1月にあらためて「施設白書2018」が発表され。
- 5) 2018年（H30）9月には「施設再編計画・二次実施プラン案」が発表されました。
これは、2019年、2020年、2021年の3年間のプランとなっています。

2014年3月の「施設再編整備計画・一次プラン」の内容は、大規模な施設削減プランでした。

ア 科学館 → 廃止

イ あんさんぶる荻窪 → 税務署と交換

ウ 41館の児童館 → 全廃（14館の子ども子育てプラザへ）

エ 区民事務所（6館）と区民集会所（12館）の計18館 → 全廃

オ ゆうゆう館と集会施設 → 統廃合

カ 区立小中学校 → 統廃合して小中一貫校へ

キ 区立保育園 → 廃止して民営化 などです。

（2）へ続く 文責 ノビス